



IMV CORPORATION

# 2021年9月期 決算説明会

2021年11月

# 本日のアジェンダ

## Agenda

### 1. 会社概要

### 2. 2021年9月期決算サマリー

# 会社概要

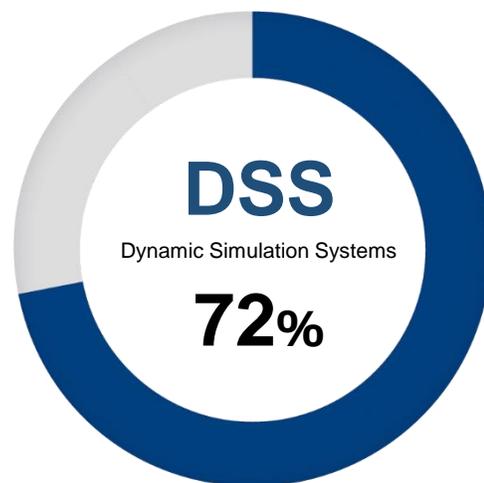
## Company Profile

商号	》》	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	》》	1957年（昭和32年）4月17日
資本金	》》	4億6,481万円
従業員数	》》	410名（2021年9月30日現在 連結）
年間売上高	》》	115億7,600万円（2021年9月期 連結）
上場証券取引所	》》	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	》》	7760
決算期	》》	9月30日

# 事業セグメント | 売上構成比

Business Segment

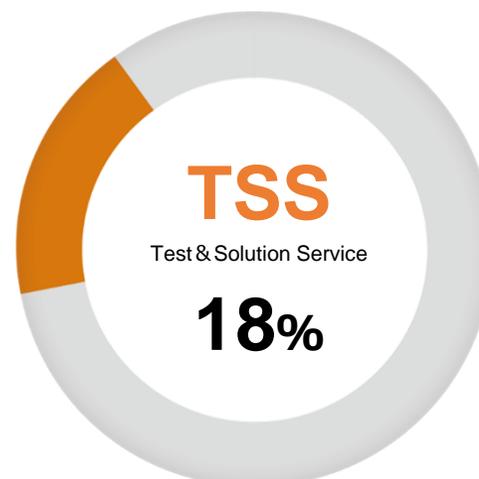
## 振動試験装置



振動試験装置の販売



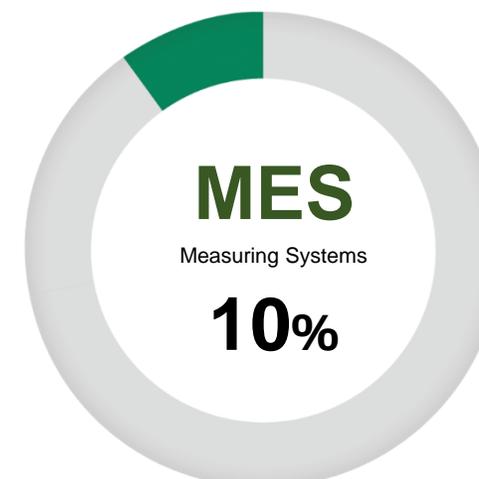
## テスト&ソリューションサービス



受託試験サービス



## メジャリングシステム



振動計測製品の販売



2021年9月期  
売上高比率

# 国内拠点

## Domestic bases

### Osaka | 大阪



- ▶ 本社
- ▶ 大阪営業所
- ▶ 大阪テストラボ
- ▶ 大阪エンジニアリングサービス部

### Uenohara | 上野原



- ▶ 上野原サイト  
高度試験センター

### Tokyo | 東京



- ▶ 東京営業所
- ▶ 東京エンジニアリングサービス部

### Sagamihara | 相模原



- ▶ MESエンジニアリングサービス部
- ▶ 東京テストラボ

### Nagoya | 名古屋



- ▶ 名古屋営業所
- ▶ 名古屋テストラボ
- ▶ 名古屋エンジニアリングサービス部

### Kasugai | 春日井



- ▶ 春日井テストラボ

### Iruma | 入間



- ▶ 日本高度信頼性評価試験センター

## 国内子会社

- » (株)振研  
八王子市
- » 日東精機(株)  
大阪市西淀川区
- » データ・テクノ(株)  
京都市下京区

# 海外拠点

## Overseas bases

**Germany** | ドイツ



▶ IMV EUROPE LIMITED  
German Sales Office

**China** | 中国



▶ IMV CORPORATION  
Shanghai Representative  
Office

**Vietnam** | ベトナム



▶ IMV TECHNO VIETNAM  
CO., LTD

**U.S.A.** | アメリカ



▶ IMV America, Inc.

**France** | フランス



▶ IMV France

**U.K.** | イギリス



▶ IMV EUROPE LIMITED



▶ IMV EUROPE LIMITED  
European Manufacturing Centre



▶ 1g dynamics

**Thailand** | タイ



▶ IMV (THAILAND) CO., LTD

# DSS 製品ラインアップ

## 振動試験装置

従来機より性能が向上したAシリーズはこれまで不可能だった試験を可能にします。また、省エネ装置や恒温恒湿槽なども提供しています。



## 水冷式大型振動試験装置

大型の振動試験機でありながら、水冷式を採用することにより、試験中の騒音を最小限に留め、試験環境の向上を実現した製品です。



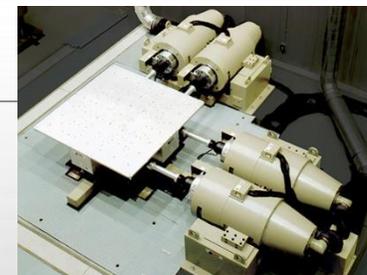
## 振動制御器 K2+

ハードウェア・ソフトウェア全てを自社開発し、複雑な試験でも簡単に実施可能にします。



## 多軸多点振動試験装置

現実にかかる振動環境の正確な再現が可能です。



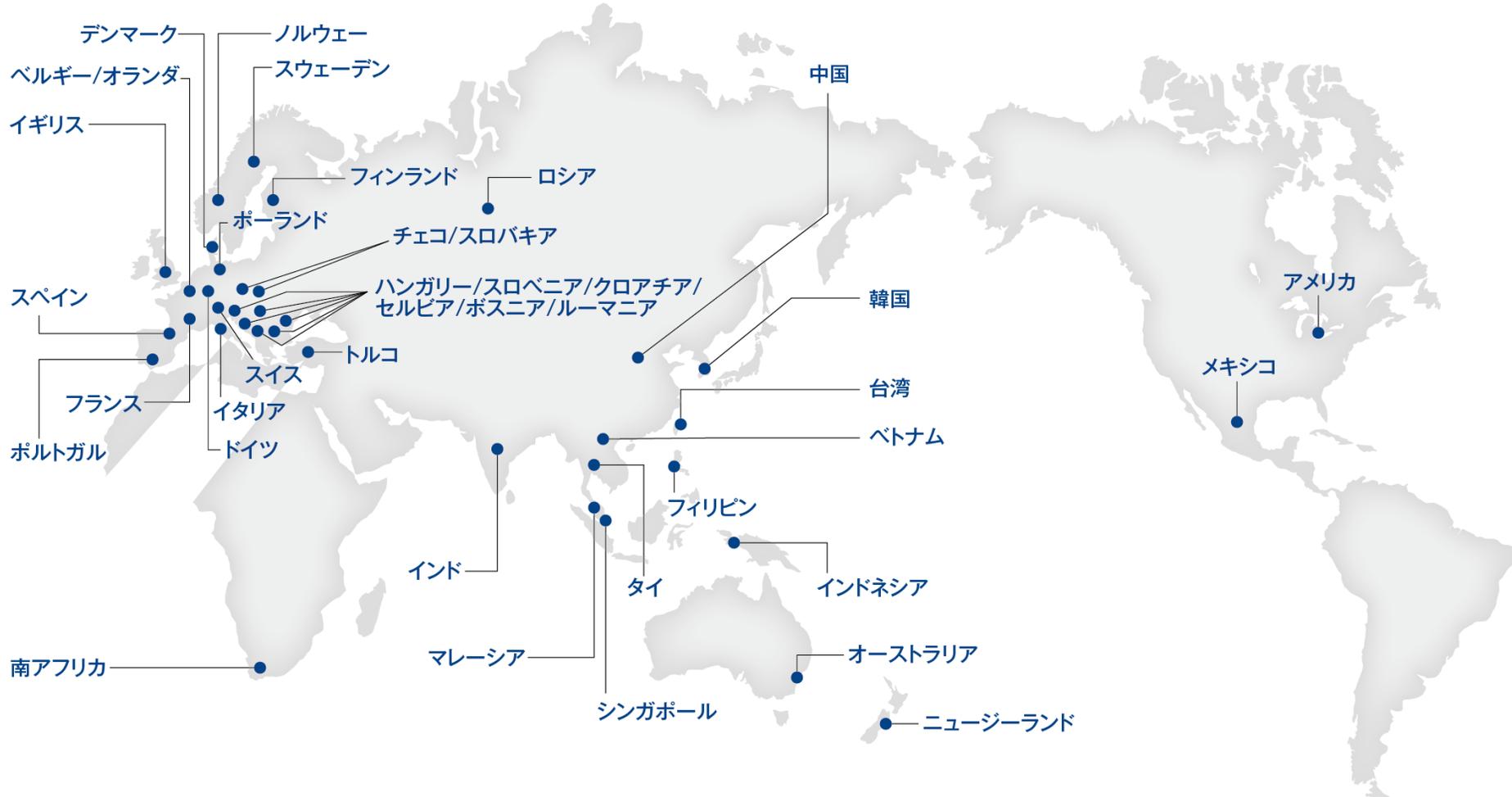
## 振動試験トータルシュミレーション

振動試験中の供試品の挙動を詳細に予測するシステムを導入し「計測」「シュミレーション」「治具製作」とすべてを内包した高付加価値なサービスを提供します。

## 小型振動試験装置、高周波振動試験装置

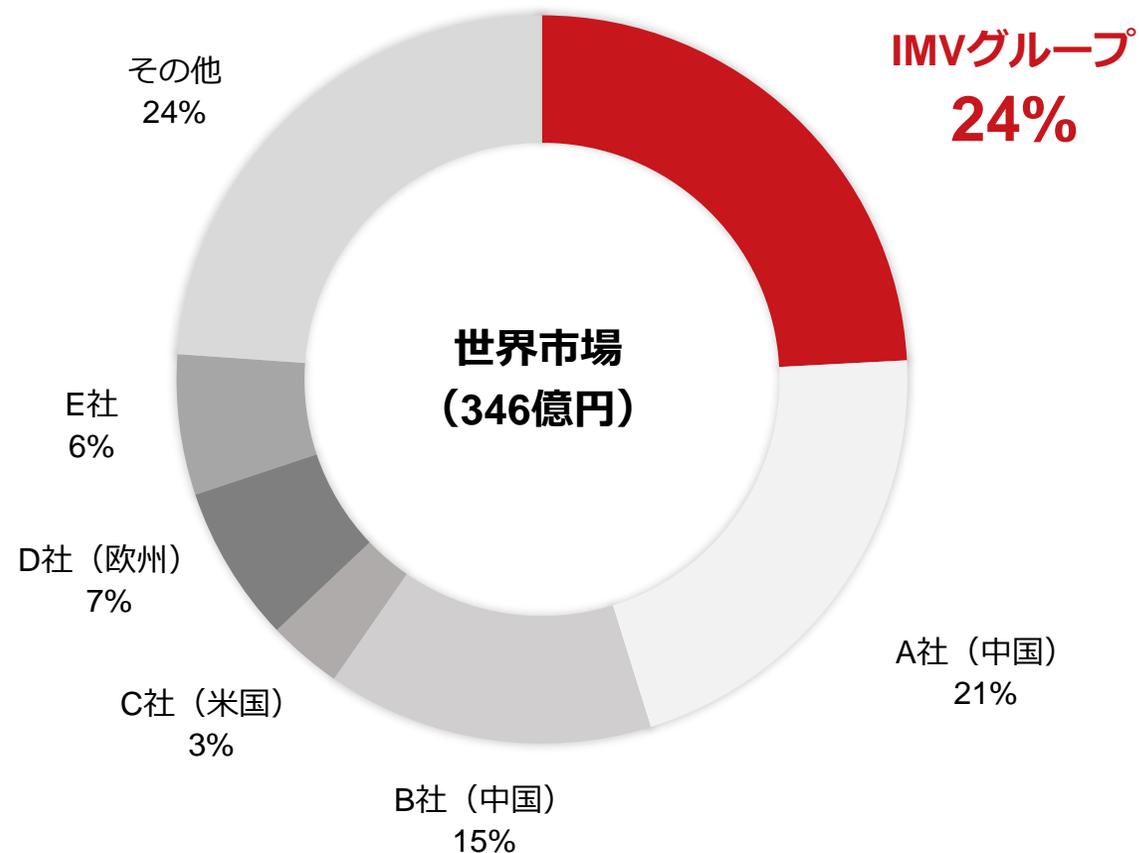
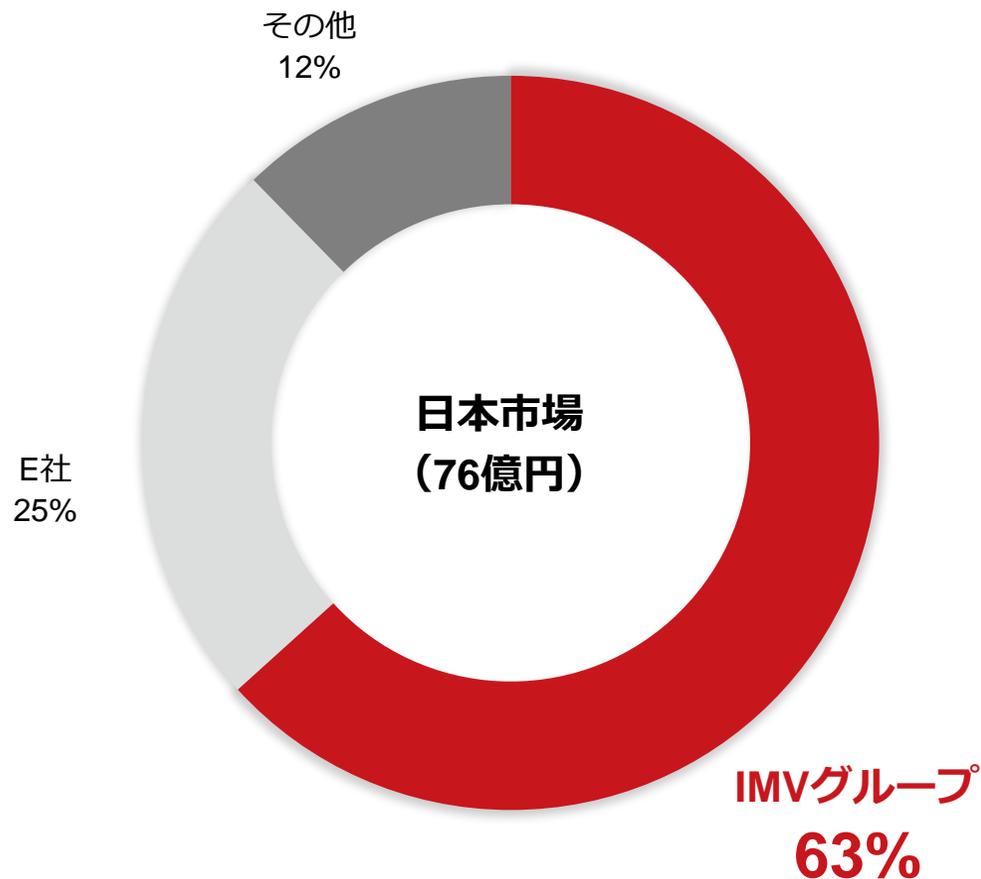
小型・低騒音でありながら本格的な試験にも対応可能な装置です。さらに、小型振動試験装置と恒温槽を組み合わせることで2k~10kHzまでの高周波の複合試験が可能な高周波振動試験装置も取り揃えております。

# DSS セールス&サービスネットワーク



# DSS 販売シェア状況（当社独自調査を含む）

## Sales Share of DSS



# IMVテストラボの事業紹介

## 大阪テストラボ



大阪市西淀川区竹島2-6-10  
開設:2005年

- 振動試験
- 電池試験

## 名古屋テストラボ



愛知県みよし市根浦町5-2-18  
開設:2007年

- 振動試験
- EMC試験
- 電池試験

## 東京テストラボ



神奈川県相模原市緑区日連870  
開設:1988年

- 振動試験

## Thailand



IMV(THAILAND)CO., LTD  
アマタナコン工業団地  
開設:2011年

- 振動試験
- 環境試験

## 上野原サイト高度試験センター



山梨県上野原市ハツ沢2193-28  
開設:2015年

- 振動試験
- 電池試験

## 日本高度信頼性評価試験センター



埼玉県入間市宮寺4102番142  
開設:2018年

- 振動試験
- EMC試験
- 環境試験

## 春日井テストラボ



愛知県春日井市上条町3-24-5  
開設:2019年

- 振動試験

## Vietnam



IMV TECHNO VIETNAM CO., LTD  
タンロン工業団地  
開設:2018年

- 振動試験
- 環境試験

# IMVテストラボの紹介

小型から大型まで豊富な振動試験設備を保有しており、特に大型タイプは業界屈指のラインナップを有します。また複数加振機による多点加振（長尺物）環境も備えています。また、振動試験以外にもハイストレス温度サイクル試験や塩水噴射試験など様々な環境試験に対応しています。

- ≫ 小型～大型機まで充実のラインナップ
- ≫ 自動車、航空宇宙、電子機器など様々な業界において2万件を超える試験実績
- ≫ シミュレーション試験技術の開発



# IMVテストラボの紹介

## 特長ある試験サービスと業界屈指の試験環境

### 》 小型～大型機まで充実のラインナップ

小型から大型まで豊富な振動試験設備を保有しており、特に大型タイプは業界屈指のラインナップを有します。また複数加振機による多点加振（長尺物）環境も備えています。約半数は恒温槽を備える複合試験対応機となっており、これら多様な機器群によりフレキシブルな試験サービスを提供します。

### 》 信頼性評価

e-モビリティ（電気自動車の大型モータやインバータ等）の信頼性評価試験や電池専用の試験室を構築。大型の電池試験品など大規模な試験室を要する場合は外部サイトと連携し、当社エンジニアによる試験計画策定・コンサルティングを提供するサービスも実施しています。

### 》 EMC試験対応

電気・電子製品から放出される電磁波を測定し、規格で決められた範囲内に収まっているかを評価するエミッション（EMI）測定と、電磁波による誤動作の起こりやすさを評価するイミュニティ（EMS）試験の2つで構成されたEMC試験にも対応しています。

### 》 環境試験対応

ハイストレス温度サイクル試験や塩水噴射試験など様々な環境試験に対応しています。

# MES 製品ラインアップ

## 地震監視装置

地震を常時監視し、発生時には設備を緊急遮断することにより二次災害の防止に貢献します。



地震監視装置

## IoT関連製品

機械の状態監視と地震時の緊急対応両方でIoTでの活用を想定した製品を取り揃えております。



ラムダパイプロ

## FA用振動センサ

安価なMEMS素子でも10kHzまで正確に測れる超小型ピックアップをはじめ、多様なラインナップを取り揃えております。



超小型ピックアップ

## 振動計測装置

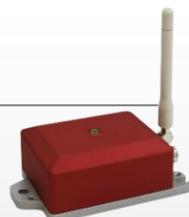
床振動から機械装置の回転振動まで、あらゆる振動を計測します。



WiFiポータブル振動計

## 構造ヘルスマニタリングシステム

ビルや橋梁といった建造物の多点に設置し、地震時および定期的に加速度波形を収集し速報や健全性を評価します。



ワイヤレスタイプ長周期モニタリングシステム

## 振動監視装置

発電所やポンプなどの機械振動を常時監視し、予防保全に活躍します。



接触式振動監視装置

# MES 防災ビジネス活動

## 地震計の国際標準化活動

地震発生時の避難誘導、重要設備の停止、地震発生後のビルやダムなどの建造物の健全性の確認等で日本では様々な場面で地震計が活用されています。しかし、海外では防災としての地震計活用が普及していません。

IMVはスマート都市インフラの防災に関する国際標準化を検討するISO/TC268/SC1/WG6で、日本が提案した地震計の国際標準化に向けて主管企業として活動を行っています。国際会議ではトルコ、ギリシャ、中国などの国が参加して地震計の国際標準化の検討を行っています。



地震監視装置  
TM-0013-SW & SW-52ST

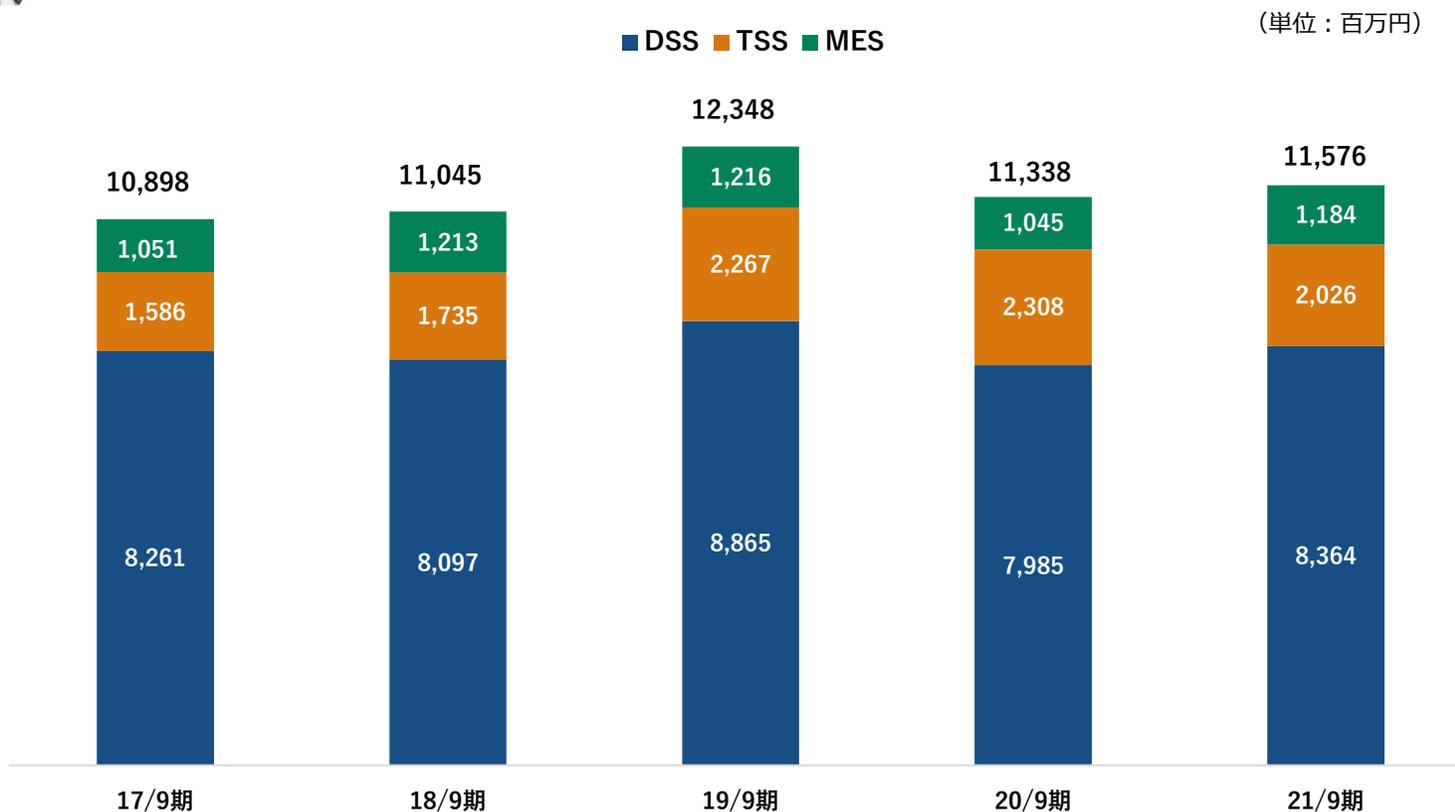
# 本日のアジェンダ

## Agenda

1. 会社概要

**2. 2021年9月期決算サマリー**

# 事業別 売上高推移



## DSS

大型機の売上が好調であったことや自動車関連向けの売上が堅調に推移しました。

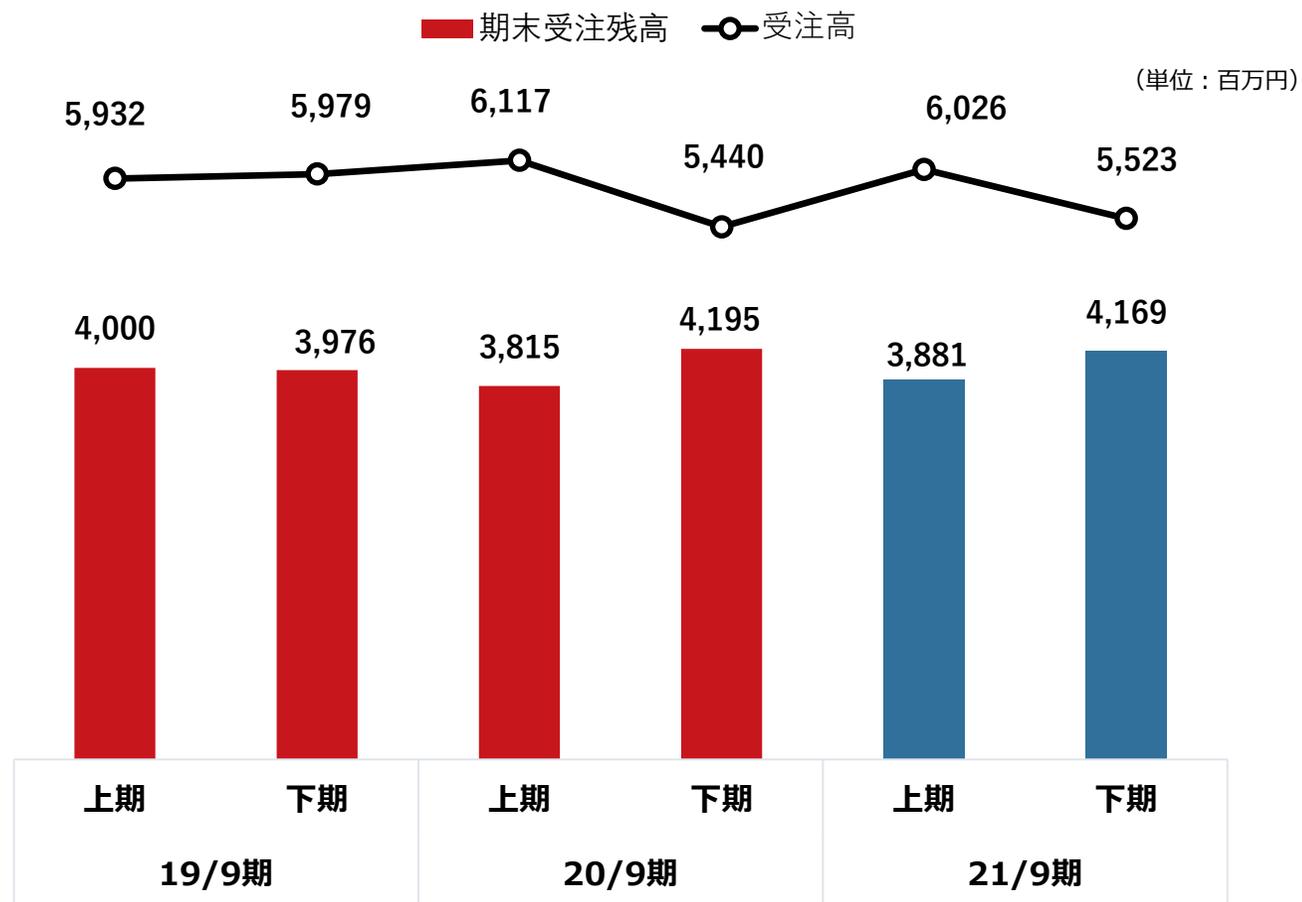
## TSS

上期を中心にCOVID-19の影響により受託試験の遅延等が生じたため売上が低迷しました。

## MES

海外での振動計測装置、地震監視装置の販売や国内外のサービス部門が好調に推移しました。

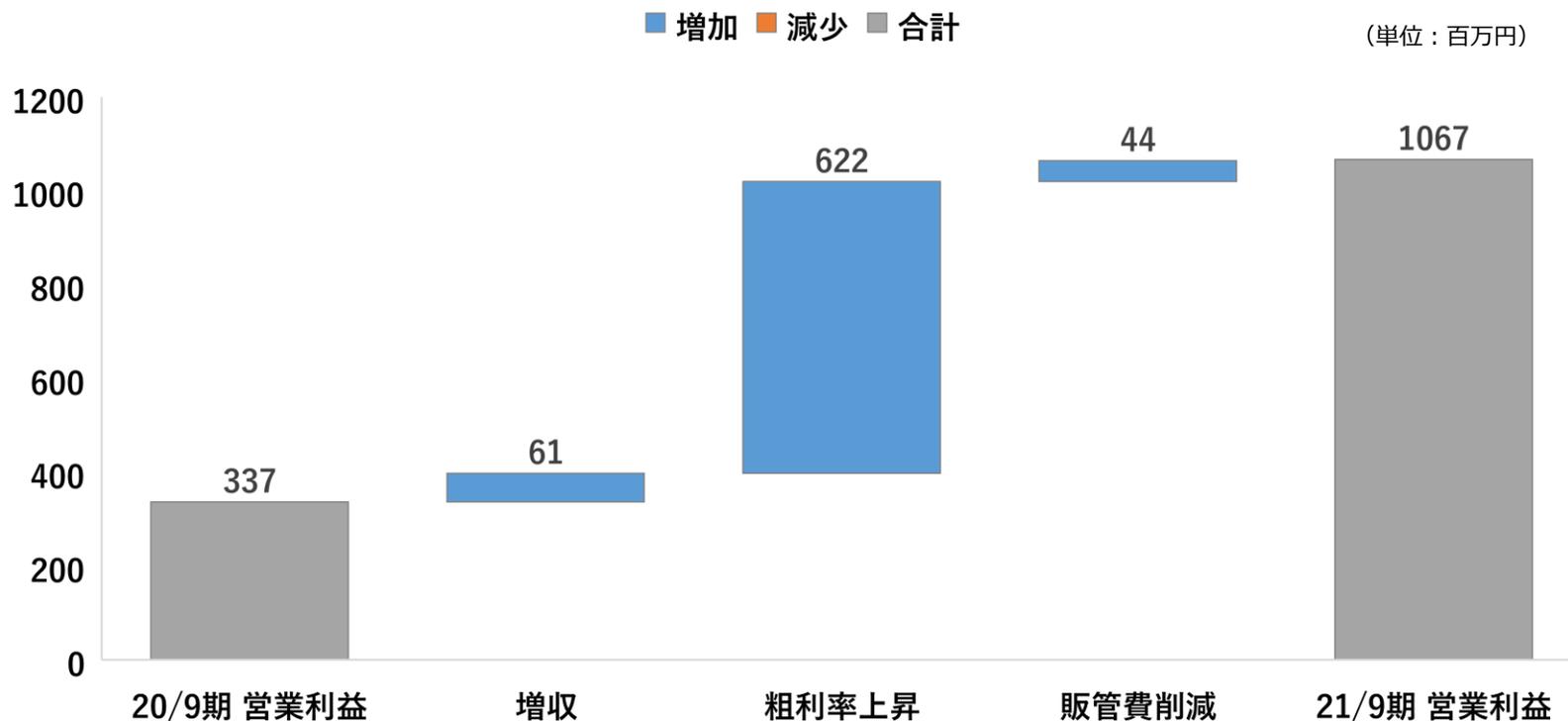
# 受注の状況



》 COVID-19の影響による、営業活動停止や受託試験の延期及び中止に伴い、受注高が減少しました。

》 次期に向けて、DSSを中心に40億円を超える受注残高を有しています。

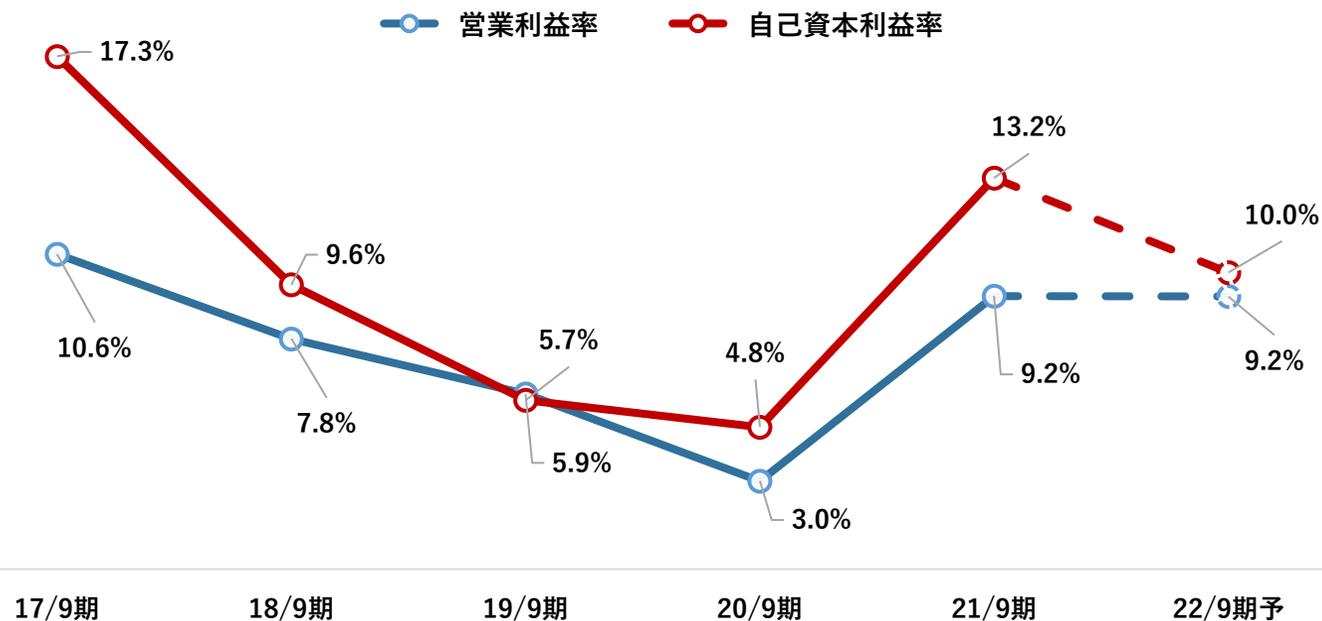
## 営業利益増減要因



➤ DSS、MESの売上の増加に加え、粗利率の改善や経費削減の効果もあり、営業利益は大幅に増加致しました。

➤ 粗利率の改善は、材料費及び経費の削減に成功したことに加え、高利益率大型案件に恵まれたことによるものです。

## 営業利益率及び自己資本利益率（ROE）の状況



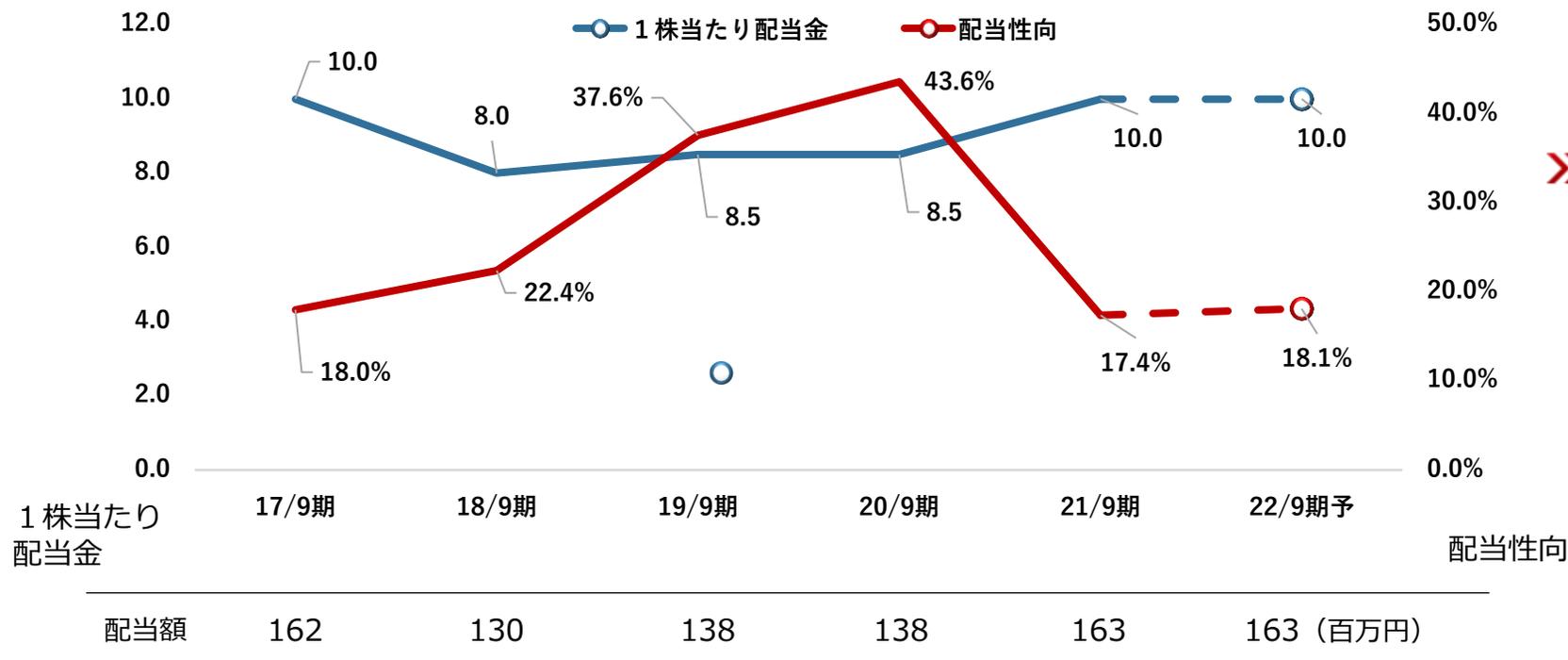
≫ 18/9期以降、国内施設及び海外子会社向け積極投資に伴う固定費の増加が先行した結果、利益率は低下傾向にありました。

≫ 21/9期は投資が落ち着き、材料費率の改善や経費削減等もあり、利益率は大幅に改善しました。

≫ 22/9期の売上高は伸長するものの、新規設備投資や研究開発費の増加により、営業利益率は横ばいになることが見込まれます。

≫ 22/9期の自己資本利益率は、利益計上による自己資本額の増加に加え、21/9期に計上された営業外収益を見込んでいないことから減少が見込まれます。

# 配当金の状況



※17/9期は設立60周年記念配当2.5円を含む。

》 配当性向は各年度の利益状況によって変動しますが、株主への安定的な還元を心がけています。

》 中期経営計画においては、安定した配当の維持・継続を基本方針としつつ、資本効率を考慮した株主還元を実施するため、株主資本配当率（DOE）2.5%を目指します。

# 決算概要（連結） 1

（単位：百万円）

	20/9期	21/9期	前年度比	コメント
売上高	11,338	<b>11,576</b>	238	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DSS事業の大型機の売上が好調であったことやMES事業の海外売上、サービス部門の売上が伸長したことから、前年度比で増加しました。</li> <li>●売上高の増加に加え、粗利率の改善や経費の削減等により営業利益は前年度比で増加しました。さらに経常利益、当期純利益につきましても、為替差益や助成金収入を計上し、前年度比で増加しました。</li> </ul>
営業利益	337	<b>1,067</b>	729	
経常利益	462	<b>1,310</b>	848	
当期純利益（親会社株主帰属）	316	<b>937</b>	620	
1株当たり当期純利益	19.48	<b>57.52</b>	38.04	
売上高営業利益率	3.0%	<b>9.2%</b>	6.2%	

## 決算概要（連結） 2

（単位：百万円）

	20/9期	21/9期	前年度比	コメント
営業キャッシュ・フロー	500	<b>2,090</b>	1,590	● 増収増益による営業キャッシュ・フローの増加に伴いフリー・キャッシュ・フローは増加し、期末における現金等残高は潤沢に保有しております。
フリー・キャッシュ・フロー	△45	<b>1,927</b>	1,973	
現金及び現金同等物残高	2,839	<b>3,652</b>	813	
自己資本残高	6,699	<b>7,514</b>	815	● 財務安定性は前年度から改善し、引き続き安定水域にあります。
自己資本比率	41.3%	<b>43.9%</b>	2.6%	
自己資本当期純利益率	4.8%	<b>13.2%</b>	8.4%	

## 決算概要（連結） 3

（単位：百万円）

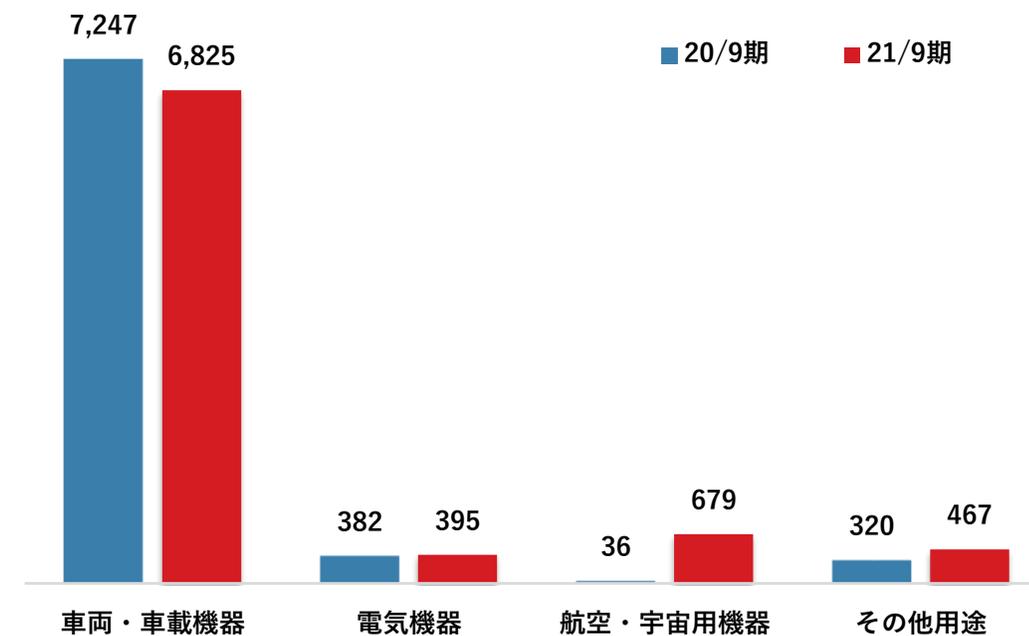
	20/9期	21/9期	前年度比	コメント
設備投資額	519	200	△318	●前年度と比べて設備投資、研究開発は抑制されました。 ●今後の設備投資、研究開発については「中期経営計画」で詳細を記載しています。
減価償却費	696	600	△96	
研究開発費	463	392	△70	
1株当たり配当金（円）	8.5	10.0	1.5	●獲得した利益を安定的に株主に還元すると共に、機関投資家及び株主との対話を通じてIR活動の充実を行います。
期末株価（円）	305	568	263	
期末時価総額	5,172	9,631	4,460	

## DSS の概況（顧客業種別分析）

（単位：百万円）

	20/9期	21/9期	前年度比
車両・車載機器	7,247	6,825	△422
電気機器	382	395	14
航空・宇宙用機器	36	679	643
その他用途	320	467	146
合計	7,985	8,365	381

- 車両・車載機器：国内市場は好調でしたが、米国など海外の一部地域で低迷し、減収となりました。
- 航空・宇宙用機器：大型案件があり大きく伸びました。

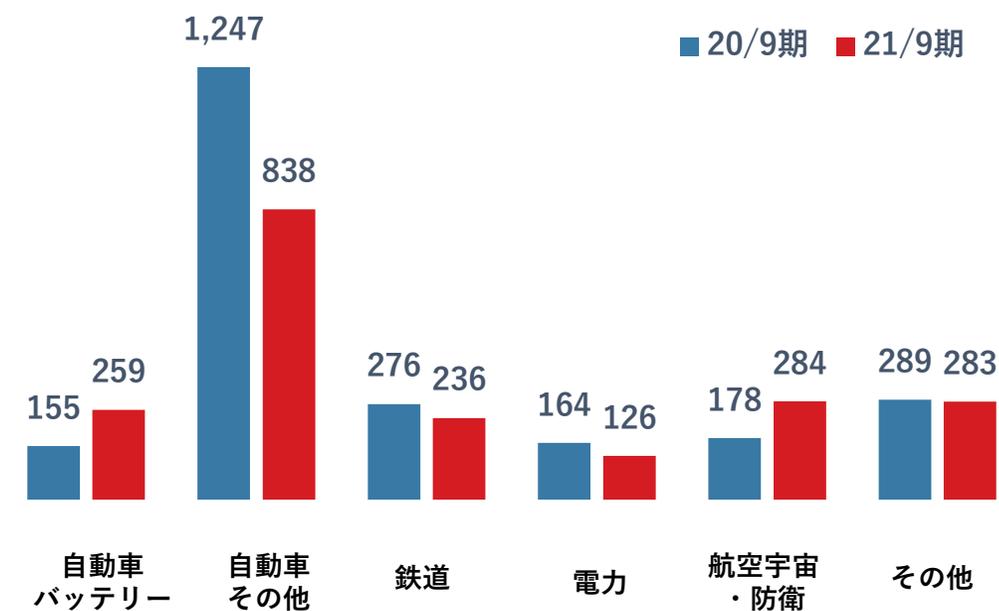


## TSS の概況 (顧客業種別分析)

(単位：百万円)

	20/9期	21/9期	前年度比
自動車 (バッテリー)	155	259	104
自動車 (その他)	1,247	838	△409
鉄道	276	236	△41
電力	164	126	△38
航空宇宙・防衛	178	284	106
その他	289	283	△5
合計	2,308	2,026	△282

- 自動車：バッテリー試験は伸びましたが、その他の試験は前年を下回りました。
- 航空宇宙・防衛：単価・件数ともに伸び、前年を上回りました。

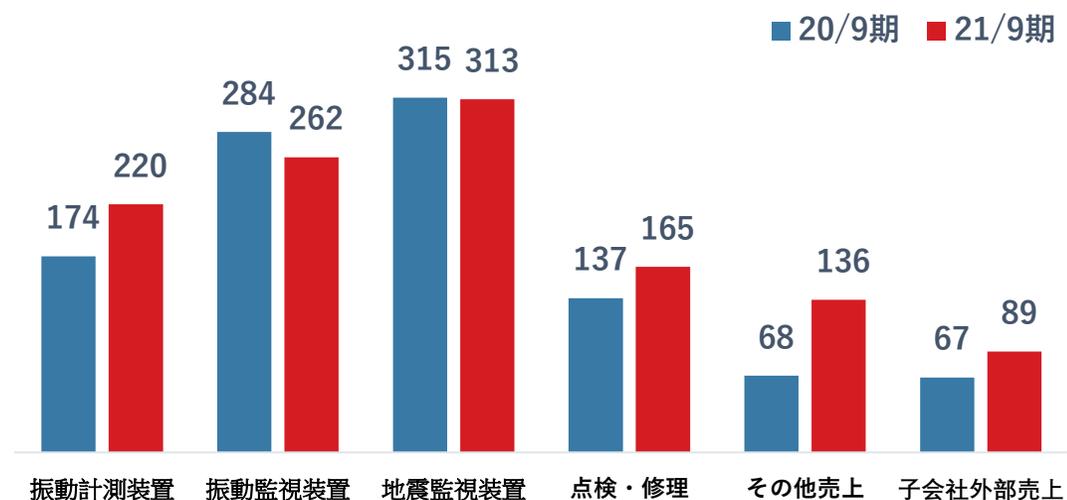


## MES の概況（製品種類別分析）

（単位：百万円）

	20/9期	21/9期	前年度比
振動計測装置	174	220	46
振動監視装置	284	262	△23
地震監視装置	315	313	△2
点検・修理	137	165	28
その他売上	68	136	68
子会社外部売上	67	89	23
合計	1,045	1,185	140

- 振動計測装置：国内・海外ともに伸長し、増収となりました。
- 点検・修理：メンテナンス部材等の売上が好調に推移し増収となりました。
- その他売上：絶縁劣化評価試験器の売上の増加により、増収となりました。



## 22/9期 事業計画（連結）

（単位：百万円）

	21/9期実績	22/9期予想	前年度比	コメント
売上高	11,576	<b>12,500</b>	924	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期末受注残高及び現時点における引合状況等を勘案した結果、売上高は21/9期を上回るものと予想します。</li> <li>● 21/9期同様、研究開発費を除く諸経費の抑制を進めて、利益率の改善を行います。</li> <li>● COVID-19等による世界経済の不透明性は継続しており、不測の事態が生じた場合、予想数値を修正させていただく可能性がございます。</li> </ul>
営業利益	1,067	<b>1,150</b>	83	
経常利益	1,310	<b>1,250</b>	△60	
当期純利益（親会社株主帰属）	937	<b>900</b>	△37	
売上高営業利益率	9.2%	<b>9.2%</b>	0.0%	
1株当たり当期純利益	57.52	<b>55.32</b>	△2.20	
1株当たり配当金（円）	10.0	<b>10.0</b>	0.0	
設備投資額	200	<b>607</b>	407	
減価償却費	600	<b>603</b>	3	
研究開発費	392	<b>625</b>	233	

# 中期経営計画

(2022年9月期～2024年9月期)

IMV株式会社



IMV CORPORATION

# 中期経営計画

01 近年の振り返り

02 企業理念 及び 中期基本方針

03 中期経営計画 概要

04 中期重点取組み

05 社会的責任の取組みと企業価値向上



# 中期経営計画

## 01 近年の振り返り

### 02 企業理念 及び 中期基本方針

### 03 中期経営計画 概要

### 04 中期重点取組み

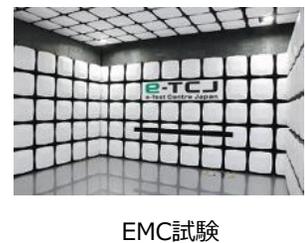
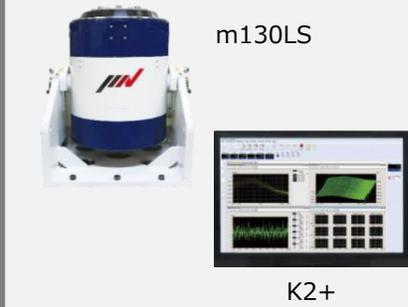
### 05 社会的責任の取組みと企業価値向上

# 近年の振り返り

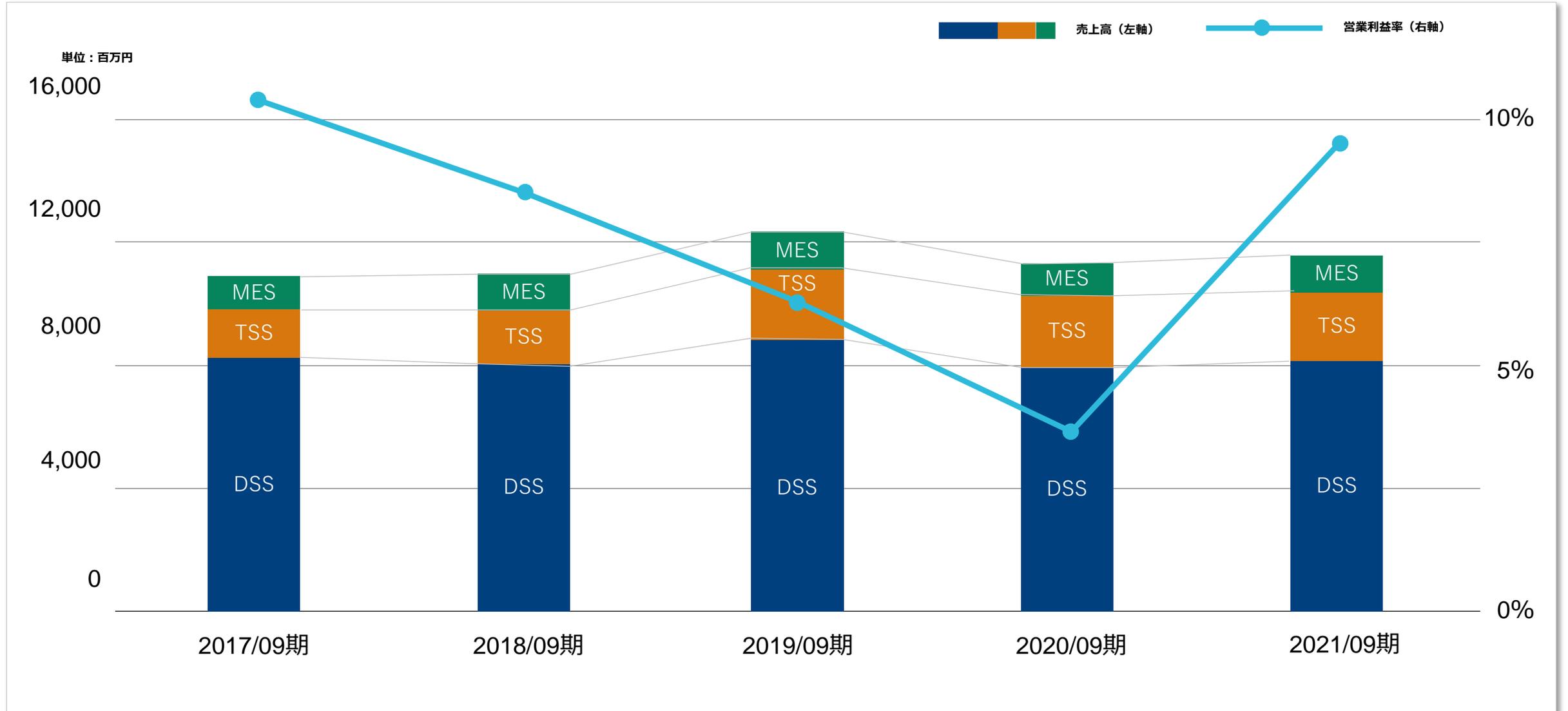
国内外  
拠点の拡充

新製品の  
投入

新サービスの  
提供



## 売上高と営業利益率（連結）の推移





# 中期経営計画

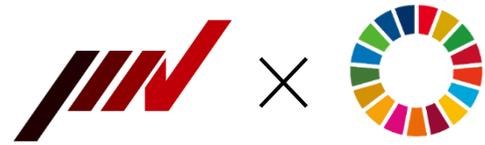
01 近年の振り返り

02 **企業理念 及び 中期基本方針**

03 中期経営計画 概要

04 中期重点取組み

05 社会的責任の取組みと企業価値向上



# Secure the Future

～未来の安全・安心のために～

IMVは、事業を通じて世界の安全・安心に寄与し、  
持続可能な社会の実現に貢献します

IMVで働く人々は、すべての業務が世界の安全・安心に繋がることを常に意識し、  
またそれを誇りに思います

## 単なるモノ売りビジネスからの脱却

今後起こる社会変化に対応し持続的に成長していくための礎の3年間と位置付け、お客様の潜在的なニーズまでもよく理解し、新たな価値の創造を実現する

そのためには、つねにトータルソリューションの提供を意識し、新しい機器開発はもちろんのこと、【提供サービスの幅と深さの拡大】と【デジタル基盤サービスの開発】をさらに活発化させ、【振動評価理論の構築】にも着手する  
また、それらを可能にする新しい働き方を提案する



# 中期経営計画

01 近年の振り返り

02 企業理念 及び 中期基本方針

03 中期経営計画 概要

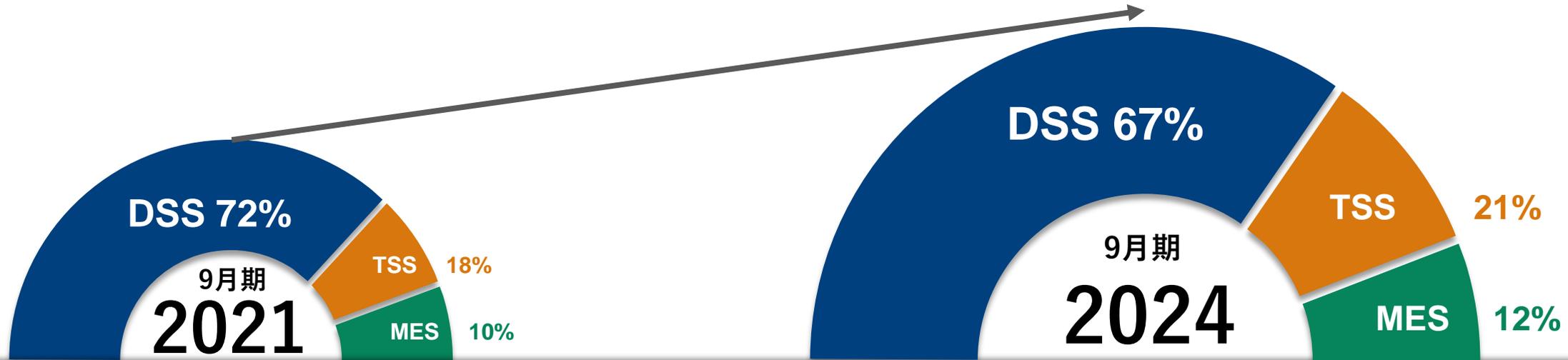
04 中期重点取組み

05 社会的責任の取組みと企業価値向上

## 社会変化に対応し持続的に成長していくための礎の3年間

連結売上高 116億円	営業利益 11億円
	営業利益率 9.2%

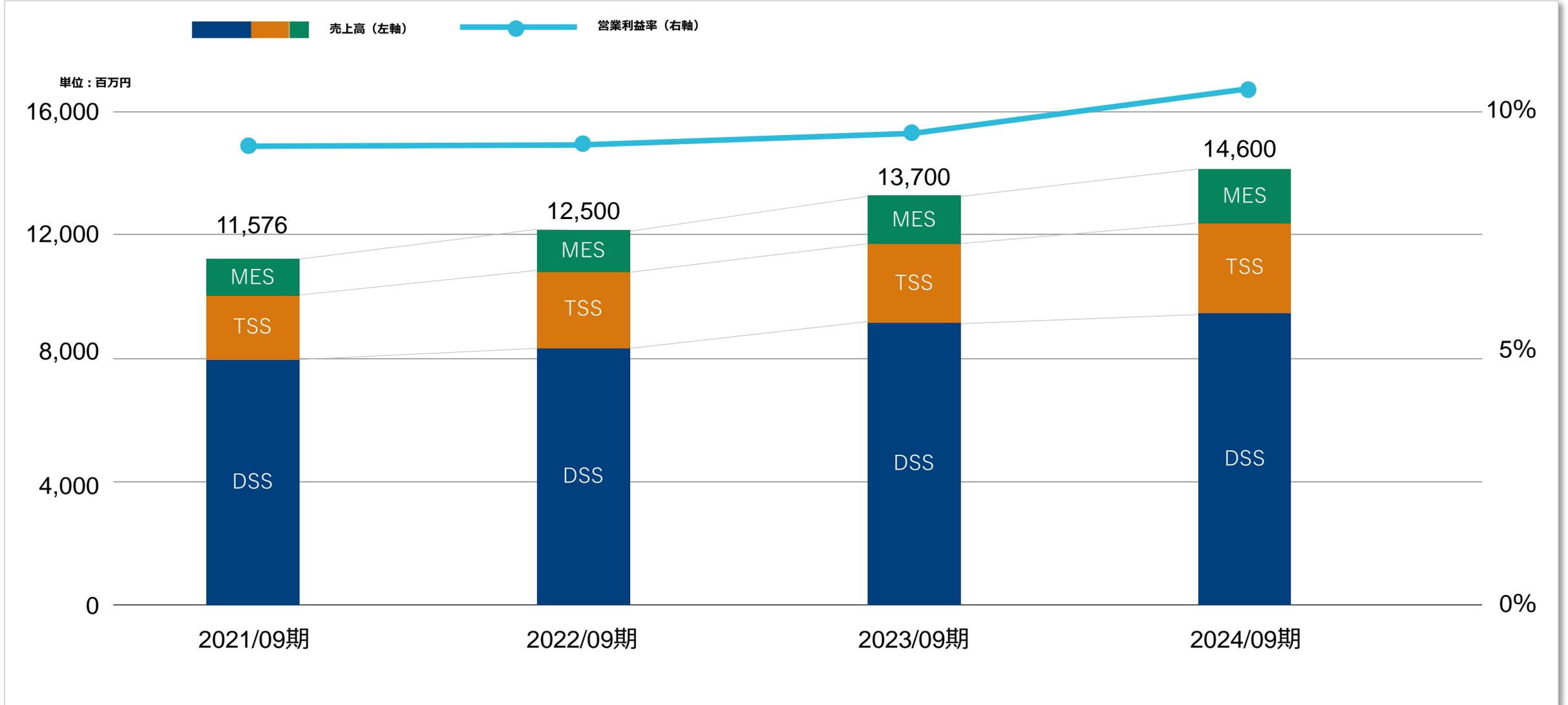
連結売上高 146億円	営業利益 15億円
	営業利益率 10.3%



### 中期経営計画

- ▶ 研究開発戦略： P42
- ▶ グローバル戦略： P45
- ▶ 重点成長戦略： P47

## 売上高と営業利益率（連結）の推移



## 財務安定性・配当 (IMV単体)

	21/09期	22/09期 計画	23/09期 計画	24/09期 計画
自己資本	69.8億円	76.4億円	84.1億円	93.0億円

【配当方針】 安定した配当の維持・継続を基本方針としつつ、資本効率を考慮した株主還元を実施するため、株主資本配当率 (DOE) 2.5%を目指す

## 収益性 (IMV単体)

	21/09期	22/09期 計画	23/09期 計画	24/09期 計画
営業利益率	10.2%	9.9%	12.5%	13.5%
ROIC(投下資本利益率)	4.9%	6.2%	7.4%	8.5%

## 投資計画 (IMV単体)

	21/09期	22/09期 計画	23/09期 計画	24/09期 計画
設備投資	1.4億円	総額 34.2億円		
研究開発費	3.7億円	総額 24.3億円		

【主な開発テーマ】 DSS : 故障診断および予測手法の開発、顧客とのつながりを強化するシステムの開発

TSS : 振動データベースの構築、小型衛星機械的環境試験方法の開発

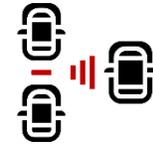
MES : スマートファクトリー、防災・社会インフラ向け高性能振動センサとセンシング技術の開発

## エクスポネンシャルテクノロジーのコンバージョン

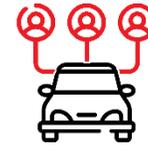
バーチャルリアリティ (VR)  
サービスロボット ニューラルネットワーク  
機械学習 3Dプリンター 郡制御、群知能 4Dプリンター  
遺伝子編集動植物  
無人航空機 拡張現実 (AR) 人工臓器 無人航空機  
ビッグデータ分析 遺伝子治療 脳とコンピューター結合 サービスロボット

### Exponential Technology

4Dプリンター 感情コンピューティン デジタル取引自動運転車 サービスロボット  
センサー 都市 ナノ粒子 ナノ素材 携帯式分析機 遺伝子編集動植物  
スマート繊維・素材 シェアリングエコノミー  
テレプレゼンスモジュール化 再生可能エネルギー 4Dプリンター  
ニューラルネットワーク 量子コンピューター 知覚インターフェース  
遺伝子編集動植物 4Dプリンター



商用車分野において、自動運転の開発が加速



自動運転、シェアリングやライドシェアが普及



量子コンピュータを用いた開発効率化やロボットによる実験自動化



IoTデバイスの劇的増加に伴って端末（エンドポイント）でのサービス開発が本格化



時間と空間を超えた情報のやり取りによる遠隔でのコミュニケーション、体験、行動予測の進化



衛星技術を活用したスマートシティ構想

経済活動における目的の重視と  
目的を達成しうるモノへのニーズ



# 中期経営計画

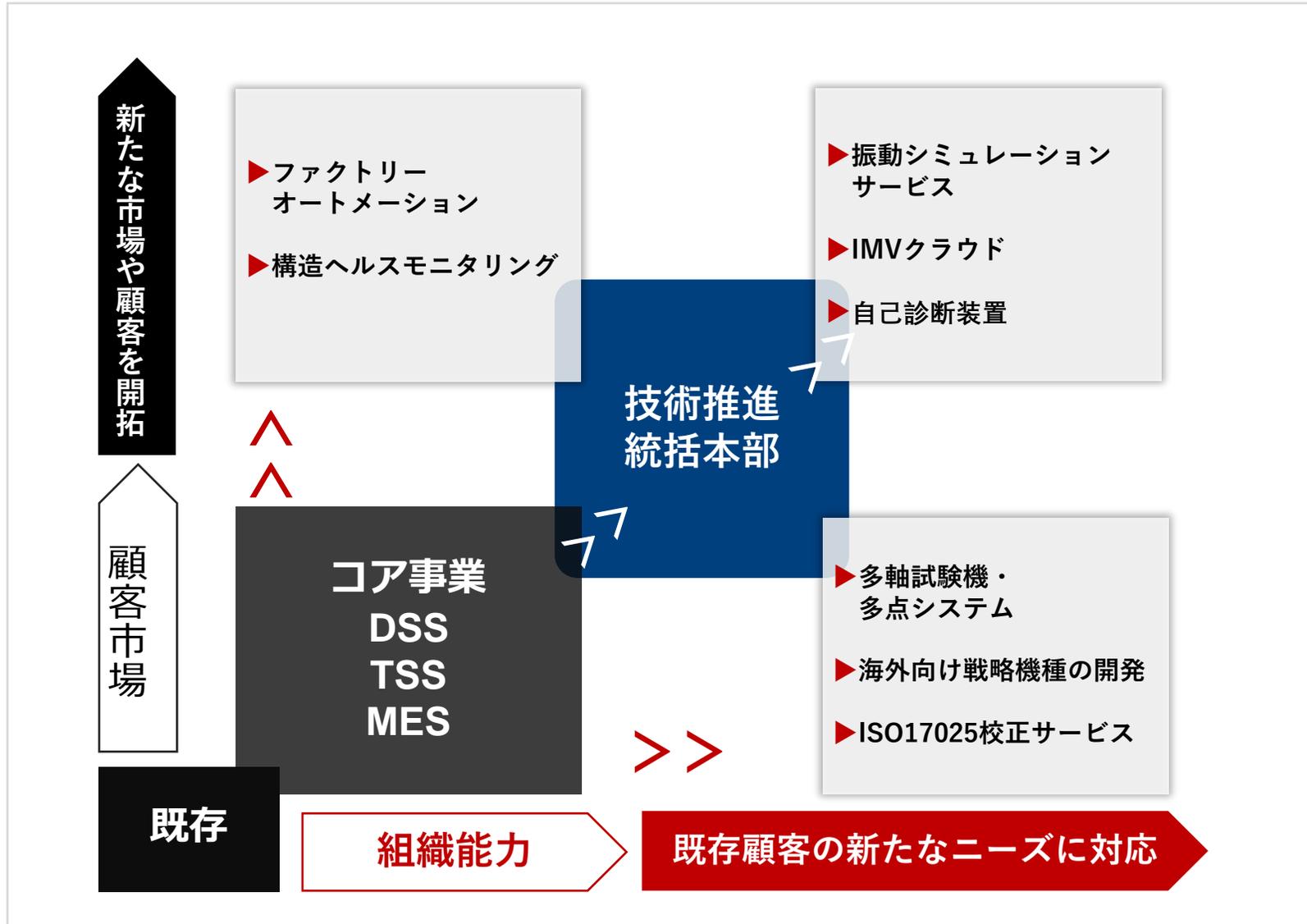
01 近年の振り返り

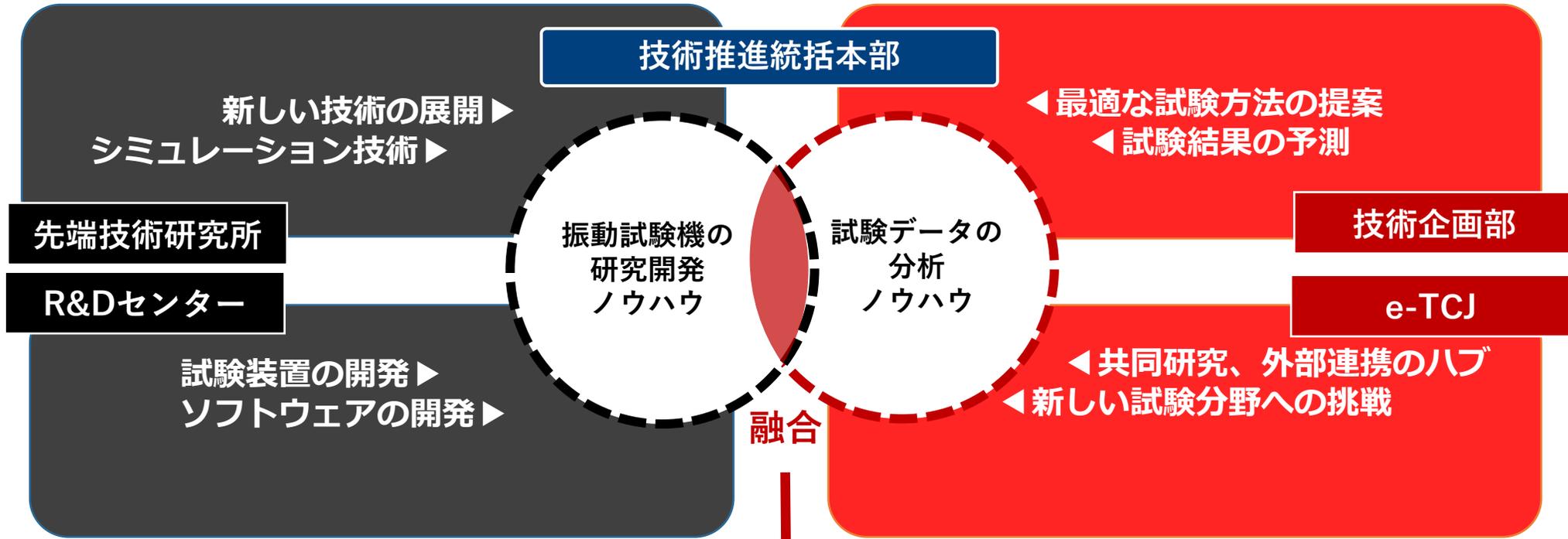
02 企業理念 及び 中期基本方針

03 中期経営計画 概要

**04 中期重点取組み**

05 社会的責任の取組みと企業価値向上



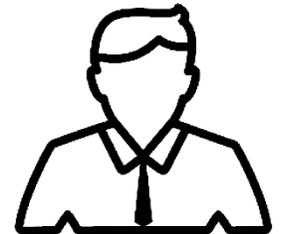


IMV株式会社



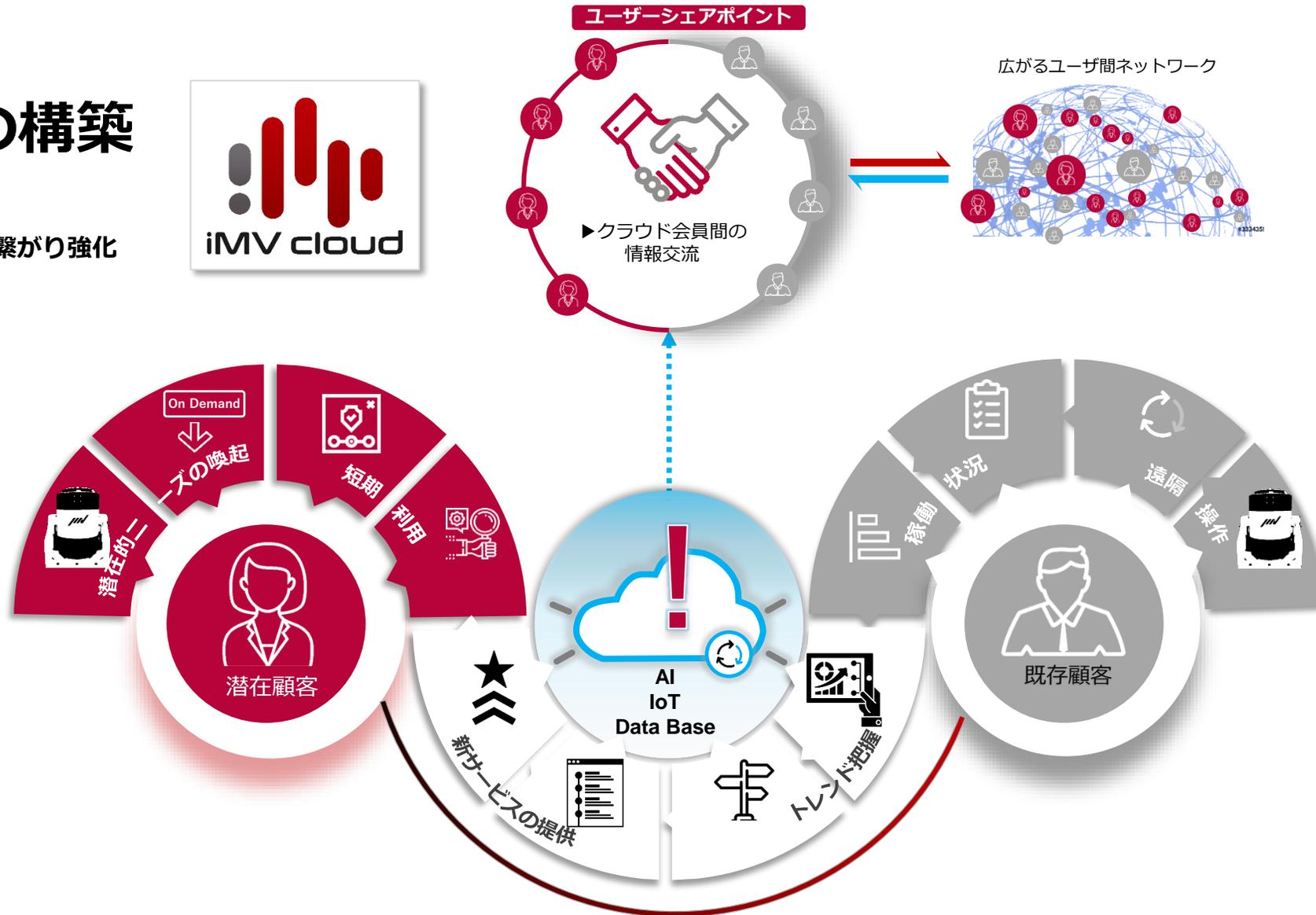
評価試験コンサルタントとしての顧客との繋がり強化

顧客

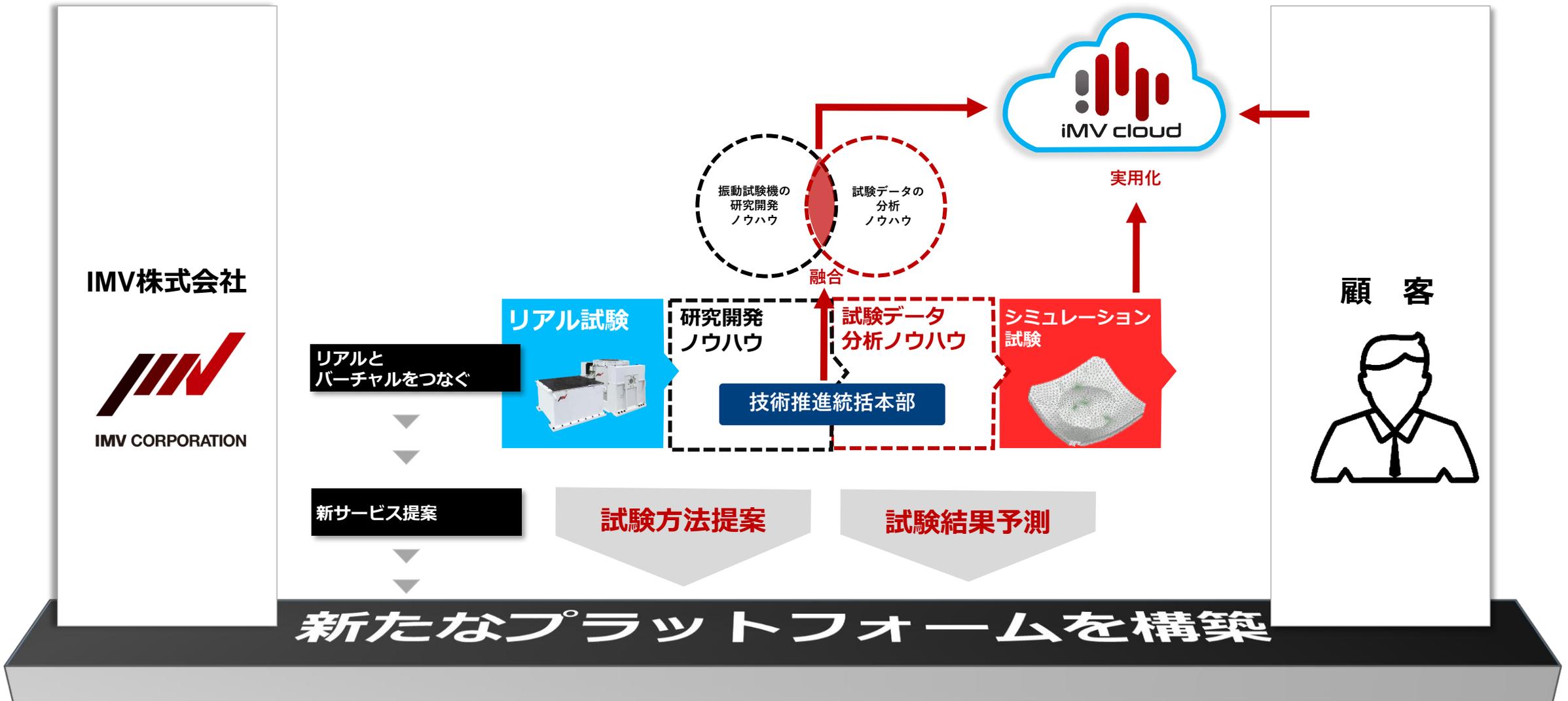


## iMV Cloudの構築

ハードとデジタルの融合  
クラウドを通じた顧客との繋がり強化



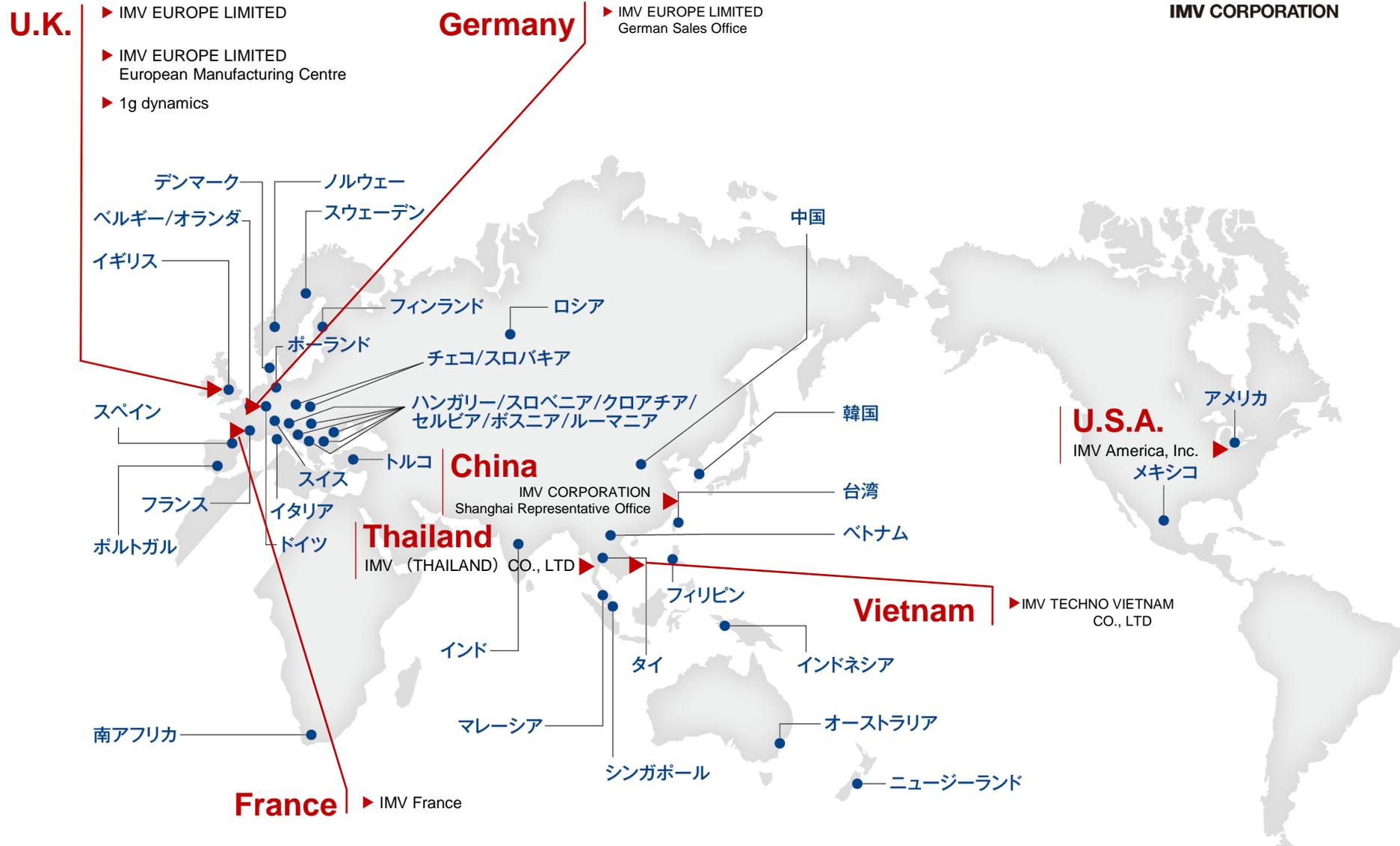
## カギをにぎる技術推進統括本部の設置とiMV Cloud





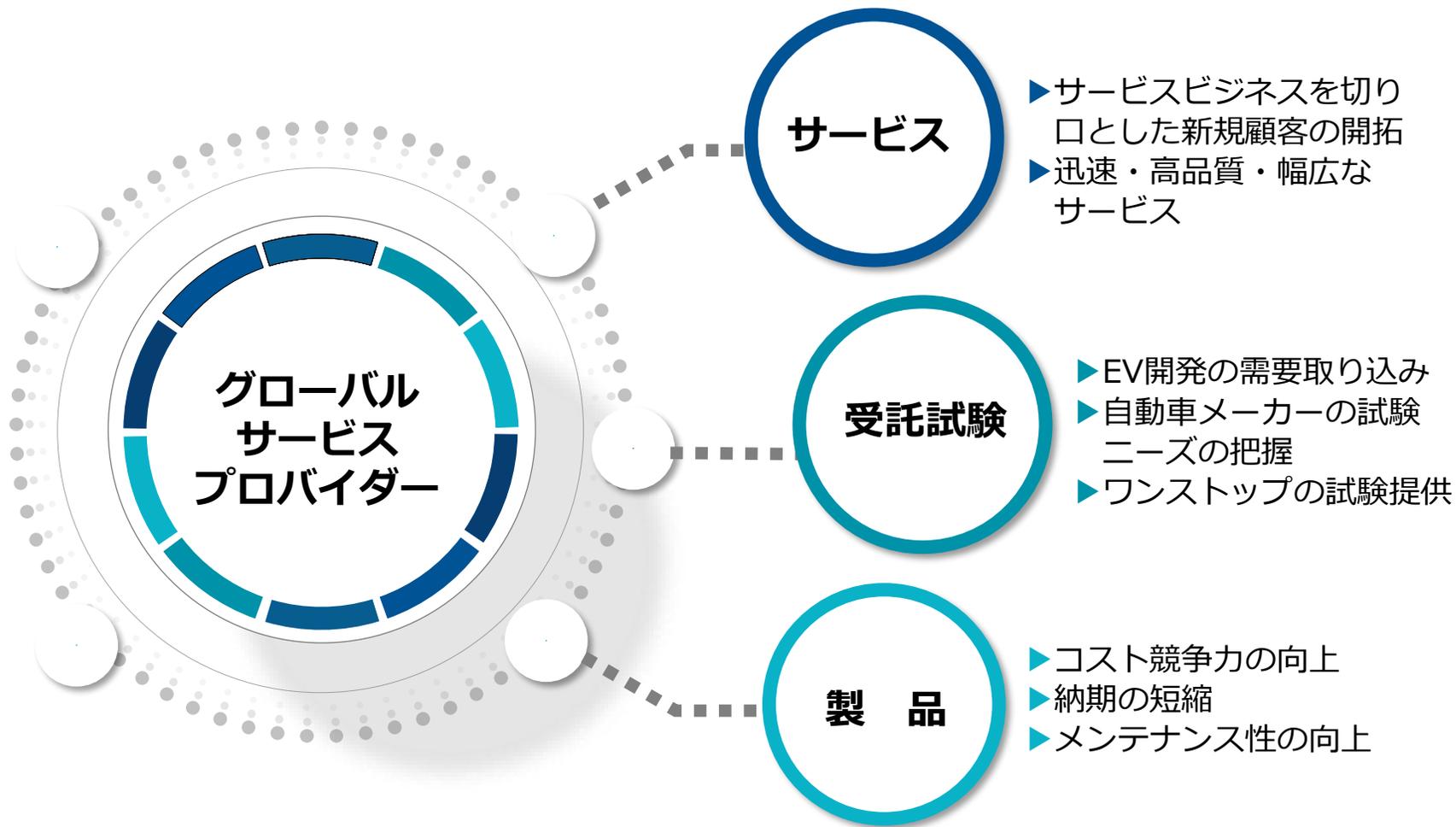
## グローバルストリーム

EV化の波  
開発期間短縮  
アウトソース化  
競争激化





## 海外売上高の推移







TM-0013-SW\_SW-52ST

## 地震計

高性能

価格競争力

ISO

実証実験

## 構造ヘルスマモニタリング

HM-5013



実証実験

## 外部リソースの活用

企業提携・  
産官学連携

社外プロの  
知見・人脈



VP8021A

## FA (ファクトリー オートメーション)

高性能

ローコスト  
量産化

# カテゴリごとに最適化されたビジネスモデルの創出



IMV CORPORATION

01 近年の振り返り

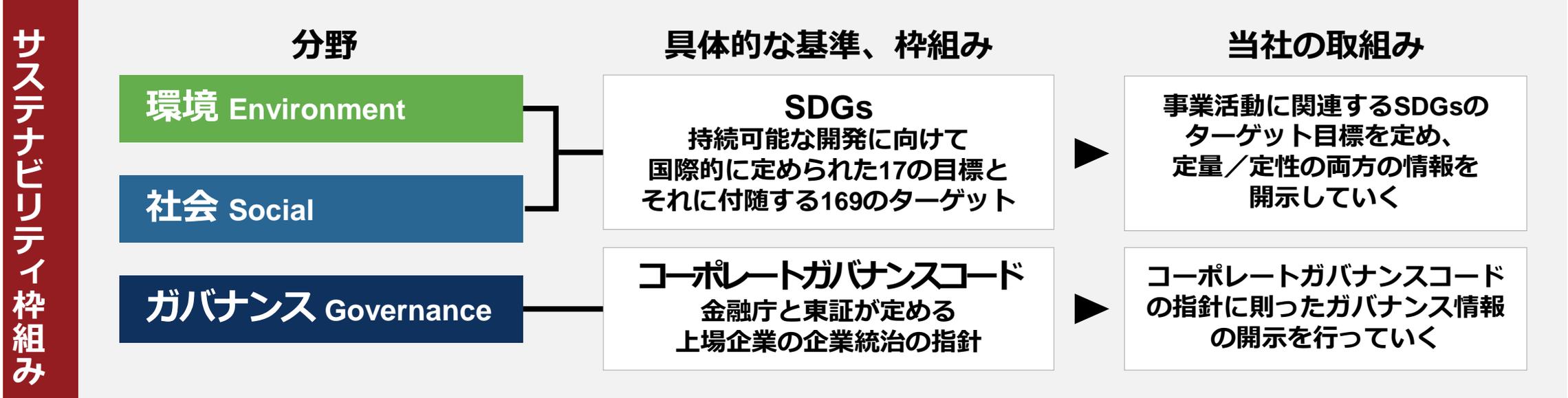
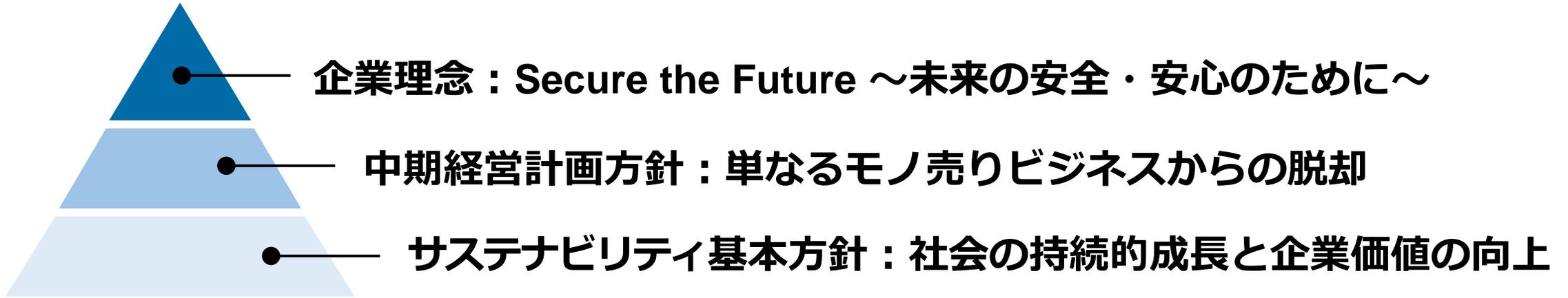
02 企業理念 及び 中期基本方針

03 中期経営計画 概要

04 中期重点取組み

# 中期経営計画

05 社会的責任の取組みと企業価値向上



# 社会的責任の取組みと企業価値向上 2

## 技術推進統括本部

- 【目標】 イノベーションの促進による技術発展、経済成長  
【取組】 これまで培ってきた自社の振動技術に関する知識・知見を軸に外部の企業や大学と積極的に技術連携、共同研究を実施し、イノベーションの促進に取り組む。



## DSS事業本部

- 【目標】 廃棄物の発生を削減する  
【取組】 IMVクラウド（自己診断機能）の導入により、振動試験機の適切な使用、管理、メンテナンスを促進し、予知保全的に廃棄物の削減に努める。



## TSS事業本部

- 【目標】 クリーンエネルギーの利用促進と交通事故の抑制  
【取組】 自動車業界の製品開発、特にEV開発における試験を担うことで、クリーンエネルギーの利用転換と自動車による交通事故の抑制に取り組む。



## MES事業本部

- 【目標】 災害に対する強靭性（レジリエンス）、適応力の強化  
【取組】 地震計の販売を通して地震災害時の迅速な被害把握、把握情報をもとにした適切な避難誘導など地震への対応力向上に資する。また、ローコストモデルの開発により地震計へのアクセスを広げる。





## 代表取締役社長 小嶋 淳平

### ○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。